

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や災害時に備えて、昼間の避難訓練は実施しているが、夜間を想定した訓練は実施できていない。	火災や災害時に昼夜問わず、利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに地域との協力体制を築く。	地域自治会に協力依頼し、地域と協同し火災や災害時に昼夜問わず利用者が避難できるよう体制を築く。	12ヶ月
2	40	○食事を楽しむことのできる支援 献立の重複があり栄養のバランス等、見直しが必要。法人の意向で利用者職員が別々に食事をしている。	献立の見直しを行い、栄養のバランスの良い食事を提供できるようにする。利用者、職員共に食卓を囲んで楽しく話し、その会話の中でその人らしさが引き出せるよう支援する。	栄養バランスの良い食事を提供できるよう、同法人の栄養士に相談しながら献立作りを行う。昼食の時間帯に先に休憩に入る職員が食事を共にすることができないか法人事務長と実施に向け相談する。	3ヶ月
3	52	○居心地の良い共有空間づくり 虹微対策が未だ遅れている。ホーム周辺に利用者が一息つける空間がない。	西日対策を急ぎ、ホーム周囲に利用者が一息できる休憩場所を設置する。	ホーム西側の畑に黒くを植樹し西日による暑さ対策をとる。ホーム周囲に利用者が一息つく事が出来るようベンチを設置する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。